

愛をカタチに… 普段は言え

2月14日は、バレンタインデーです。

バレンタインデーというと、チョコレートを思い浮かべるかもしれませんが、実は、女性が男性にチョコレートを贈るのは、日本独自の習慣です。

欧米では、恋人や友だち、家族などがお互いにカードや花束、お菓子などを贈り、感謝の気持ちを伝えるのです。

今回はバレンタインデーにちなんで、“愛”をテーマに大切な人へ日頃なかなか伝えられない気持ちを伝えてみましょう。



「いつも ありがとう」

向井さんは、51歳で脳溢血のういっけつを発病後、息子の順一さんや娘さんのサポートを受け、デイサービスに通いながら暮らしています。

今回は一緒に暮らす、息子さん、娘さん、お孫さんに“ありがとう”のメッセージを伝えることになりました。

向井さん

「いつも世話になっているので、当たり前になっているのよね。」

言葉で言うのは難しいね…涙で言葉に出来ないわね…」

順一さん

「うれしいです。みんな喜ぶますね
病気をして出来ることが少なくなっても、母がいつも居てくれるだけで安心できます
これからもデイサービスに通って、元気に今の暮らしを続けてくれるとうれしいです」



面と向かって“ありがとう”を伝えるのは恥ずかしいですが、普段言葉にしなくても感じている気持ちを伝えることで、お互いの思いに改めて気づく機会になり、心が温くなりました。

お二人の照れながら、涙で言葉を詰まらせつつ、お話される様子は、親子の“愛”を感じる素敵な場でした。

デイサービスのスタッフと一緒に「ありがとう」のメッセージを書きました

